

名誉町民 市丸良一（いちまる りょういち）氏 ご逝去 生前のご遺徳を偲び哀悼の意を表します

中種子町名誉町民の市丸良一氏（94歳）が、3月21日に、ご逝去されました。

市丸氏は、21歳の時、本町において、市丸産業合名会社を設立して以来、でんぷん工場を営み、その後、タクシー事業の拡張を中心に、遊技場、不動産業、飲食、旅館業など、一代で市丸グループを築き上げ、本町のみならず、多くの地元民の雇用創出に尽力されました。また、地域の教育・文化振興のため、多大な財政援助も行っていたいただきました。地域に根ざした産業の振興や島民の利便性を高めたフェリー・高速船の導入など、地域経済の発展および離島振興に大きく貢献していただいたその功績は、誠に偉大であり、中種子町民の誇りでした。

【榮譽】

平成18年 旭日小綬章受章
平成23年 中種子町 名誉町民受章



写真：名誉町民称号受章後、祝賀会に出席した市丸氏



広報なかたね（平成23年7月号）から引用

地域おこし協力隊通信（No. 88） 企画課で頑張ります（大山広太郎）

タイトルの通り、4月から企画課所属となり、心機一転2年目の協力隊活動がスタートしました。

前年度については農林水産課に所属し活動しておりましたが、今後は企画課にて空き家の利活用に関する活動として、空き家の調査や空き家バンクの運営等に取り組んでいきます。そして、ゆくゆくは空き家を活用したおためし住宅の設置や空き家の流通量を増やす活動にも取り組みたいと考えています。最近ではそのような目標を実現するため、地元の大工さんの現場にお邪魔し、DIY（※）スキル習得のための勉強をさせていただいております。

島内では住宅不足が話題になる状況で、習得したDIYスキルが、空き家の利活用の役に立つ日がくることを楽しみに日々頑張っています。

空き家に関する情報などお持ちの方がいらっしゃいましたら、地域おこし協力隊の大山までご連絡いただけますと幸いです。

（※）DIYとは、自分で何かを作ったり修理したりすることです。（家庭内の改装や修繕、家具の製作など）



写真はDIY勉強中の一枚

活動の様子や町の情報をInstagramに掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

地域おこし協力隊とは、国の制度で都市から地方へ生活の拠点を移し、地域で活動を行いながら、任期終了後の定住・定着を図りつつ、地域活性化に繋げる取り組みです。任期は最長3年間です。



TANEGASHIMA.NAKATANE